

## デザ研に吹き込む、新たな息吹 —博士1名、修士9名、研究生2名—

text\_fujii

総勢12名の新メンバーが都市デザイン研究室に加わりました。もはや毎年恒例となっていますが、新メンバーのプロフィールや意気込みなどをご紹介します。今号では博士、修士の新メンバーを取り上げます。

### アンケート内容

- ①出身地
- ②趣味/特技
- ③好きなまち
- ④座右の銘
- ⑤デザ研を選んだ理由
- ⑥研究室生活に向けての意気込み



第5代  
都市デザインマガジン編集長  
菊地原徹郎

### 松井 大輔 (Matsui Daisuke) D1

- ①北海道函館市、新潟大学
- ②まちづくりをしているおじさん達とお酒を飲むこと
- ③函館:外に出て改めて良さを知ったストラスブル:建築、都市計画に興味を持つきっかけになった町
- ④塵も積もれば山となる
- ⑤今までお世話になってきたまちづくりをしている人たちの役に立てる人間になるため
- ⑥気合いで頑張ります!!



### デザ研 公開活動報告会開催

4月10日の2009年度第一回研究室会議では、学部生や外部生、新M1、D1、研究生を対象とした研究室の活動報告を行ないました。去年から始まった公開活動報告会は、デザ研の多岐にわたる活動を発信するだけでなく、研究室が「何を求めているのか」、そしてそれを通じて一人一人が「何を求めるたいのか」を考える重要な時間を与えてくれたのではないのでしょうか。



▲M2を中心に昨年度の活動報告の様子。「まるで講義のようだ!」と各先生方のお言葉通り144教室に多くの人が集まりました。



▲毎年恒例の新生歓迎コンパ。新生が各テーブルに散らばり、くだけた話から研究内容など談義に花を咲かせました。

### 阿部 正隆 (Abe Masataka) M1

- ①富山市、九州大学
- ②バドミントン
- ③ケンブリッジ:大学2年時の1ヶ月程住み、歴史的町並みの保全と快適な住環境が両立されていたので
- ④なんとかする
- ⑤都市の歴史、PJ活動に興味があったので
- ⑥研究に、勉強に、PJ活動に…様々なことに挑戦したいと思います。よろしくをお願いします。



### 大熊 瑞樹 (Okuma Mizuki) M1

- ①東京都大田区
- ②ダイエット/マジック
- ③金沢:賑わい、自然、歴史、文化などがコンパクトに集まっているので
- ④徹夜を決意して昼寝
- ⑤PJ活動に参加したかったので
- ⑥アクティブに明るく楽しく、かつ、良いものと悪いものをしっかりと見極める目を持って頑張りたいです。



### 神原 康介 (Kambara Kosuke) M1

- ①広島市、慶応義塾大学
- ②美味しい料理を食べること  
ディンギーセーリング
- ③逗子(葉山辺り):細く曲がりくねった路地、閑静さ、高級感、潮の香り、ぼかんとくつろげる場所、夏夜の浜辺の賑わいなどのイメージがあるので
- ④直感第一
- ⑤自由な雰囲気
- ⑥頑張ります!



### 熊谷 俊一 (Kumagai Shunichi) M1

- ①東京都小金井市、埼玉県にずっと在住
- ②サッカー観戦、観葉植物、徹夜カラオケ
- ③暑い時は北の方に、寒い時は南の方にいきたい
- ④自分の無意識をいつもつかんでいきたい(by 昔の英語の先生)
- ⑤大所帯だから
- ⑥あまり頑張らないように頑張ります。



### 黒川 佑人 (Kurokawa Yuto) M1

- ①宮城県仙台市、千葉大学
- ②散歩、日光浴
- ③中目黒(西郷山公園):雰囲気、地形とかもエムシャープーク:空間体験しなければ自分の中で理屈で終わってしまうから
- ④努力あるのみ
- ⑤都市と本質的に向き合いたいから
- ⑥必死に頑張ります。皆さんと色々な議論ができるのが楽しみです。



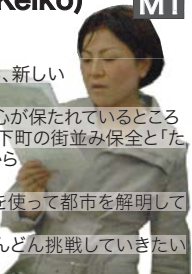
### 鈴木 亮平 (Suzuki Ryohei) M1

- ①東京都
- ②映画、散歩、サッカー
- ③雑司ヶ谷、恵比寿、長崎
- ④海賊王に俺はなる
- ⑤第一印象から決めていました!
- ⑥大熊、永野が加入した今、研究室をきれいにすることが僕の使命です。



### 櫻庭 敬子 (Sakuraba Keiko) M1

- ①埼玉県鴻巣市、千葉大学
- ②ジョギング
- ③名古屋:独自の文化を持ちつつも、新しい風を取り入れるように思う  
墨田区京町:人々の目によって安心が保たれているところ  
川越市:出身の県でもあり、又、城下町の街並み保全と「たのしみ」を供給してくれる場所だから
- ④遠くを見つめ、近くを耕す
- ⑤机上の空論ではなく自分の手足を使って都市を解明していきたいと思ったから
- ⑥失敗を恐れず、新たなことにもどんでん挑戦していきたいです。



### 永野 真義 (Nagano Masayoshi) M1

- ①大阪
- ②フットサル、ビーチバレー
- ③札幌に行ってみたく  
麻布十番でのんびりするのが好き
- ④鶏口となるも牛後となるなかれ
- ⑤デザインという謳い文句にのせられて
- ⑥合コンと同じくらい頑張ります。



### 山下 航司 (Yamashita Koji) M1

- ①千葉県
- ②読書
- ③ベネチア、京都
- ④失敗は成功のもと
- ⑤デザインが好きなので
- ⑥頑張ります!!





## 卒業生11名、デザ研を巣立つ ー追い出しコンパー

M2 竹本 千里

今年卒業された博士1名、修士10名の先輩方の送別会が3/23に盛大に行われました。心に残るような送別会にしようと、M1総出で準備をしました。会社でも使えるようなタンブラーや花束、友人や家族からのサプライズビデオレター、二年間のプロジェクトを振り返るスライドショーなどなど、イベント盛りだくさんの送別会になったのではないかと自負しています。「この送別会で号泣することが夢だった」と涙を流してくれた先輩の言葉がとても印象的でした。「相思相愛に溢れた学年」という助教の言葉通り、後輩の私から見ていても仲良く楽しい先輩方でした。プロジェクトでお世話になったり、就職活動の相談に乗ってもらったり、たわいもない話をしたり…。一年間を通して、沢山のものをいただいたと思います。私自身も来年そんな風に思ってもらえるよう、日々精進しなければとの思いも新たにしました。本当にありがとうございました。社会に出てからの一層のご活躍を期待しています。



▲ 晴れやかな笑顔を浮かべる卒業生



▲ タンブラー贈呈



▲ タンブラーのデザイン



▲ 感動のあまり言葉を詰まらせる場面も…



▲ ユイさんへ花束贈呈



▲ 卒業生から先生方へプレゼント贈呈

## 修士から博士へ 意気込みを語る ーD1 パンノイ・ナッタポンー



正直、修士課程に進学したときより、今回の博士課程の進学のほうが、なんだかワクワクどきどき、ずっと楽しみにしています。それと同時に、私の長い長い留学生生活はあと3年しかないということもだんだん実感するようになりました。3年間しかないと考えたら、あれもやりたい、これもやらなきゃと自然に思ってきましたが、その中でも私は自分ももっと「留学生としての意識」を持つことが大切なのかなと考えています。

日本に住んで11年ともなると、いつの間にか私は自分が留学生であることを意識しなくなっています。周りに起こっていることに疑問を感じなかったり、「学ぶ」ことに対して「鈍感」になったりすることが多くなっています。これからさらにいろんなことを学ぶために、博士課程の3年間は「留学生チャンネル」をもっともっと開き、いろんなものを吸収していきたいと思います。また、「留学生」という視点で都市デザイン研究室の皆さんとPJ活動や研究活動に関わることで、皆さんに有意義な情報や議論を提供できたらと思います。

最後に、決して形式的なものではないと強調しますが、私が博士課程に進学できたのも、先生方、助教の方々、先輩、同級生、後輩のおかげだと思っています。私が問題に直面したり、悩んでいたときにいつも手を差し伸べてくれて、本当にありがとうございます。

これからもよろしくおねがいします。

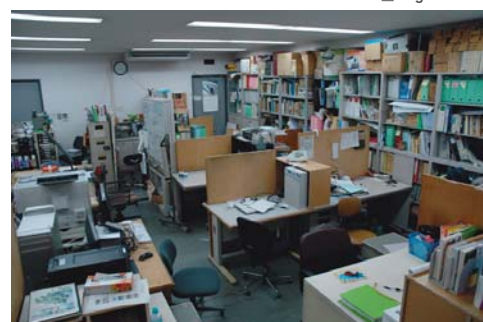
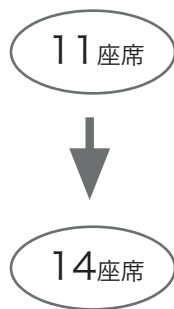
## 9F研究室区画整理事業 ー2009年度の席替えー

text\_fujii

新年度を前に新M2一同で、9F研究室の区画整理事業を実施しました。目的は座席数の増加。部屋と各机の寸法を測った後、簡易な図面をつくり、最適配置を考えました。その結果、11座席から3座席増え、14座席にすることができました。

単に座席を増やすだけでなく、各机に収納を設けたり、動線をきちんと確保するなど個人スペースの快適さを心がけました。しかし一方で、あまりにも個人スペースを意識しすぎたため、「共用空間の広がりがなくなった」との意見もありました。

都市とはあまりにもスケールは違いますが、公的・私的空間の調整や権利者間の調整の難しさを改めて感じました。



編集後記

text\_fujii

「相思相愛に溢れた学年」であった2008年度のM2が卒業し、研究室が淋しさに包まれているもつかの間、早くも総勢12名の新メンバーが加わり、新たな活気に溢れています。やはり、春は特別な季節ですね。私も座席を9Fから10Fに移し新メンバーと同様に新たな気持ちで研究室に足を運んでいます。今年度こそ初心忘れるべからず心がけていきたいと思えます。目標は規則正しい生活とK君のように研究室に入り浸ること。今年度もよろしくお願致します。

### 都市デザイン研究室 4月の予定

4月 15日- 16日 高山PJ山王祭調査  
4月21日 2009年度第一回読書会  
三崎亜記者「廃墟建築士」